

林内通信網整備実証の概要

■目的 : 林内で携帯電話やスマートフォンが使用可能な環境を整備し、林業従事者の就労環境の改善を図る。

■実証日 : 令和4年10月4～6日

■実証場所 : 福井市の大手通信会社通信エリア圏外の山林（別紙のとおり）

■実証内容 : 林内で上空ルーター（1台）、地上レピータ（3台）を用いて以下の項目について実証

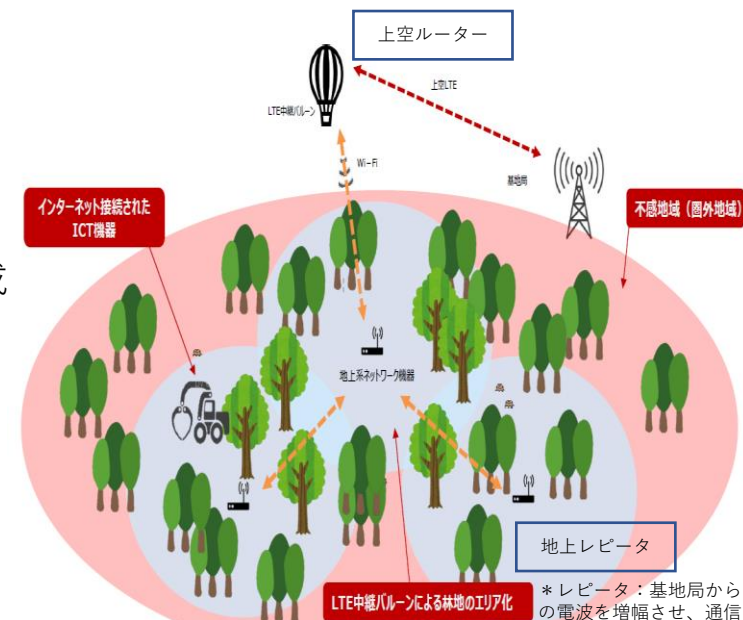
- ①通信に好適なルーターの設営高度の計測
- ②林内でのルーターの通信可能範囲の計測
- ③機器の安全に使用できる風速の計測
- ④LTEサービスエリア端からの通信可能距離の計測
- ⑤連続稼働可能時間（想定時間）の計測
- ⑥林内の通信端末（スマートフォン等）における通信速度の計測

■実証の目標 : ①実装で必要となる各要件の整理
②当該機器の導入による通信可能エリアマップ作成
③設備投資、維持にかかる費用の算出

- ↓
- ・緊急時の連絡体制の改善
 - ・アプリ等の活用、遠隔地での現地確認などの業務効率化



▲上空ルーターを搭載するバルーン



*レピータ：基地局からの電波を増幅させ、通信環境の改善を図る。

林内通信網実証地（福井市東新町地係）

